

平成30年度全国学力・学習状況調査における 岡崎市児童生徒の結果について

岡崎市教育委員会

1 調査分析概要（全国の平均正答率と比較して）

（1）全体の様子

小学校においては、国語、算数の「知識」及び理科に関する問題は「できている」状況であるが、算数の「活用」では「よくできている」状況である。

中学校においては、国語の「活用」に関する問題は「できている」、「知識」に関する問題は「よくできている」状況であるが、数学の「知識」「活用」に関する問題、及び理科の問題については「たいへんよくできている」状況である。

（2）小中学校別各教科「知識」「活用」に関する問題の様子

《小学校6年生》

科	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
国語	<p><u>できている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 文の中における主語と述語の関係などに注意して、文を正しく書く力に優れている。 相手や場面に応じて、適切に敬語を使う力が弱い。 物語を書くときの文章全体の構成の効果を考える力が弱い。 	<p><u>できている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして、考えをまとめる力に優れている。 目的に応じて内容を押さえ、自分の考えを明確にして読む力に優れている。 目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考える力がやや弱い。
算数	<p><u>できている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 異種の2つの量のうち、一方の量がそろっているときの、混み具合を比べる力に優れている。 折れ線グラフから、変化の特徴を読み取る力に優れている。 2つの数量の関係を理解したり、それを数直線上に表したりする力が弱い。 	<p><u>よくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 示された考え方を解釈し、条件を変更して考察した数量の関係に適用して、記述する力に優れている。 規則性を解釈し、それを基に条件に合うものを判断する力に優れている。 正三角形で敷き詰めた模様の中に、条件に合う図形を見つける力が弱い。
理科	<p><u>できている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 腕の骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解する力には優れているが、腕が曲がる仕組みを模型に適用する力はやや弱い。 より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関係付けながら、分析して考察する力に優れている。 実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、記述する力が弱い。 	
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> 「人の役に立つ人間になりたい」と思う児童は、「そう思わない」児童に比べ、高い正答率を得ている。また、「自分にはよいところがある」と思う児童は、「そう思わない」児童に比べ、正答率が高い。自己肯定感が強い児童が、高い正答率を得ている。 「いじめはどんな理由があってもいけない」と思う児童は「そう思わない」児童に比べ、高い正答率を得ている。「学校のきまりを守っているか」という質問でも同様な結果が出ており、規範意識の高い児童が、高い正答率を得ている。 「家の人と学校の話をする」児童ほど、正答率が高い。読書については、「しない」児童の正答率は低いですが、時間が長いほど正答率が高いというわけではない。学習についても同様な結果が見られる。一定時間に集中して学習することが、高い正答率につながっていると考えられる。 	
生活状況	<ul style="list-style-type: none"> 放課後や週末に家族と過ごす時間が長い児童の割合は、全国平均を上回っている。 地域や社会に関わる活動に参加している児童の割合は、全国平均を上回っている。 	

《中学校3年生》

科	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
国語	<p><u>よくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて主語や目的語を考えて、適切な文章を書く力に優れている。 ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む力や、古典に表れた見方や考え方を理解する力に優れている。 ・語句の意味を理解して、文脈の中で適正に使う力がやや弱い。 	<p><u>できている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章とグラフとの関係を考えながら、内容を捉える力に優れている。 ・発表資料や発表・質問の場面のやり取りなどから、質問の意図を捉える力に優れている。 ・相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く力がやや弱い。
数学	<p><u>たいへんよくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量の大小関係を不等式に表したり、等式の性質を用いて、目的に応じて変形したりすることに優れている。 ・指数を含む正の数と負の数の計算力に優れている。 ・証明の意味を理解する力がやや弱い。 	<p><u>たいへんよくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明する力に優れている。 ・与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理する力に優れている。 ・計算方法を解釈し、数学的な表現を用いて説明する力がやや弱い。
理科	<p><u>たいへんよくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガスバーナーの空気の量をどこで調節するか理解する力に優れている。 ・実験の結果を示した表から電流の値を読み取る力に優れている。 ・実験を考える際に、「変えない条件」を指摘したり、要因を変えると他にも変わる可能性のある要因を考えたりする力がやや弱い。 	
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「新聞を読んでいる」生徒は、「読んでいない」生徒に比べ、正答率が高い。「テレビやインターネットのニュースをよく見るか」という質問でも同様の結果を得ている。社会問題に関心が高い生徒、情報収集能力の高い生徒の方が、高い正答率を得ている。 ・「朝食を毎日食べる」「起床時刻が決まっている」「就寝時刻が決まっている」など規則正しい生活を送る生徒の方が、高い正答率を得ている。 ・「家の人と学校の話をする」生徒ほど、正答率が高い。読書や学習時間については、「しない」生徒の正答率は低く、多くなるほど正答率が高くなる。 	
生活状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「人の役に立つ人間になりたい」「自分にはよいところがある」と考える生徒の割合は、全国平均を上回っており、自己肯定感の高い生徒が多い。 ・「家で学校の宿題をする」生徒の割合は、全国平均を上回っている。 	

2 岡崎市教育委員会の指導改善等の取組

- (1) 国語、算数・数学、理科における岡崎市の児童生徒の学力と、学習環境と学力との相関関係を詳細に分析し、学校での授業や家庭での生活習慣等の改善すべき内容を把握します。
- (2) (1) の分析結果を受け、その授業改善案等を教育委員会が各学校へ伝え、必要に応じて担当指導主事が学校訪問を行い、改善状況を確認したり、指導したりします。
- (3) 各学校において行っている「教育診断アンケート（学校評価）」を利用して、学校や教員が自己評価を行い、日々の授業の成果と課題を明らかにし、新たな授業改善の具体的な対策を立て、取り組むよう指示します。
- (4) 教育委員会と学校は、家庭や地域と連携しながら、子供たちの生活習慣や学習環境が学力に反映することを周知し、改善を図る取組を行い、総合的な学力の向上に努めていきます。

3 留意点

- (1) この調査は、子供たちの学習状況の改善を図るために参考とするものです。
- (2) この調査で測定した学力や学習状況は、特定の一部です。
- (3) 学校では、成果と課題を把握し、授業改善に努めます。
- (4) 家庭では、得意なこと・不得意なことを知り、また生活習慣の充実を図るなど、児童生徒が学習に意欲をもって取り組める励ましや環境づくりをお願いします。

